

# アジア太平洋地域小惑星観測ネットワーク APAONの構築

奥村真一郎、浦川聖太郎（日本スペースガード協会）  
吉川 真（JAXA）、渡部潤一（国立天文台）

# 背景

- ・ チェリャビンスク隕石の落下（2013年2月）  
→地球への天体衝突問題（スペースガード）の再認識
- ・ 国連の宇宙空間平和利用委員会（の科学技術小委員会）からの要請  
→国際小惑星警報ネットワークIAWNが活動開始
- ・ アジア太平洋地域での小惑星観測を活性化させることを目的とし、APAON(Asia-Pacific Asteroid Observation Network)を立ち上げ

# 目的と活動方針

- ・ 観測活動を通じて、地球接近小惑星の地球衝突問題（スペースガード）へ貢献すること



[http://www.minorplanetcenter.org/IAWN/2014\\_cambridge/spahr\\_mpc.pdf](http://www.minorplanetcenter.org/IAWN/2014_cambridge/spahr_mpc.pdf)の図を改変

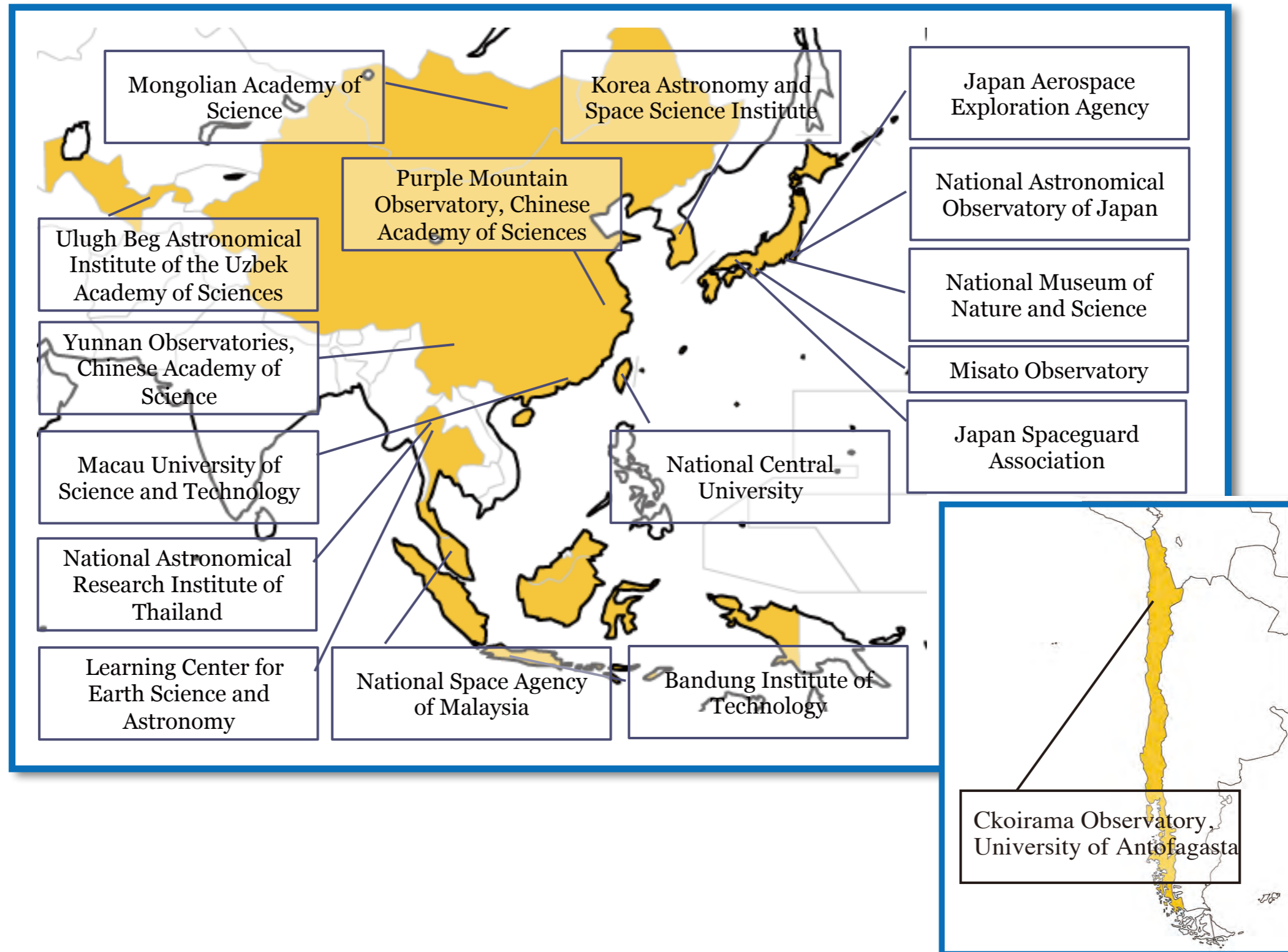
# 目的と活動方針

- ・ 観測活動を通じて、地球接近小惑星の地球衝突問題（スペースガード）へ貢献すること
- ・ プロ・アマ・大学・研究機関・公共天文台・個人など、分け隔てず呼びかけて観測協力体制を確立
- ・ 情報の共有・連携によりアジア太平洋地域における研究活動、教育普及活動の推進

# これまでの活動

- ・ 2013年12月：  
APRSAF(アジア・太平洋地域宇宙機関会議)で活動の提案、参加の呼びかけ
- ・ 2014年：  
国連の宇宙空間平和利用委員会下のIAWN会議（2月）、SMPAG会議（6月）にてアイデアを紹介
- ・ 2014年夏：  
観測ネットワークと将来の見通しの意義について国際的に議論
- ・ 2014年11月：  
「始原天体・スペースガード研究会」（三鷹）の国際セッションにて議論
- ・ 2014年12月：  
「共同声明」に同意、APRSAF会議にて活動開始を宣言
- ・ 2015年1月：  
キャンペーン観測開始

# 組織 (活動メンバー)



# 組織（活動メンバー）

- **China**
  - Yunnan Observatories
  - Purple Mountain Observatory
- **Indonesia**
  - Bandung Institute of Technology
  - National Institute of Aeronautics and Space
- **Japan**
  - Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA)
  - Japan Spaceguard Association (日本スペースガード協会)
  - Misato Observatory (みさと天文台)
  - National Astronomical Observatory of Japan (国立天文台)
  - National Museum of Nature and Science (国立科学博物館)
  - Saitama University (埼玉大学)
- **Korea**
  - Korea Astronomy and Space Science Institute

# 組織（活動メンバー）

- **Macao**

- Macau University of Science and Technology
- National Central University
- National Space Agency of Malaysia

- **Mongolia**

- Mongolian Academy of Science
- ISON-Khureltogoot Observatory

- **Taiwan**

- National Central University

- **Thailand**

- Chulalongkorn University
- Learning center for Earth Science and Astronomy
- National Astronomical Research Institute of Thailand

- **Uzbekistan**

- Ulugh Beg Astronomical Institute

- **Chile**

- University of Antofagasta



# 最新の成果

- ・ 小惑星2004 BL<sub>86</sub>のキャンペーン観測  
2015年1月26日に地球から120万kmまで接近。  
APAONメンバーに呼びかけてキャンペーン観測実施。  
  
→マレーシア、韓国、タイで観測成功。  
再接近日は日本では天候に恵まれず、観測できず。

# 今後

- ・ 連携観測の推進
- ・ Web siteの整備
- ・ 観測ネットワークへの参加呼びかけ

協力していただける方は

奥村、浦川（JSGA）もしくは 吉川（JAXA/ISAS）

までお声かけ下さい。

よろしく申し上げます。